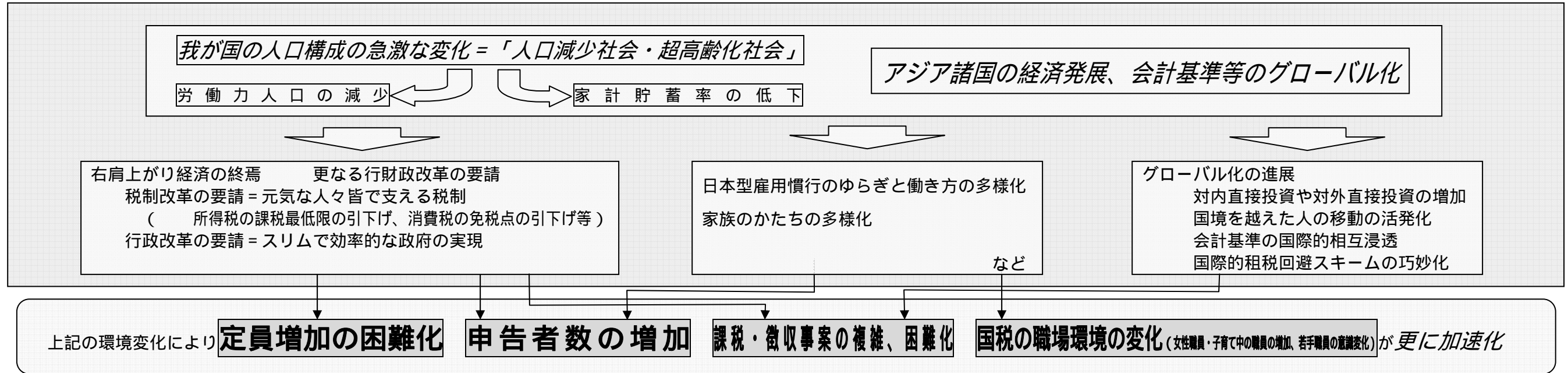


保存期間：10年

資料	2
----	---

税務行政を取り巻く環境の変化と国税庁の対応について

税務行政を取り巻く環境の変化と国税庁の対応について



上記の内外の厳しい環境のなかで、引き続き、国民の負託に応えていくためには、職員が意欲をもって働ける**職場環境づくり**に配慮しつつ、国税庁に課された**適正かつ公平な税務行政の推進**及び**納税環境の整備**に従来以上に効果的・効率的に取り組むことが必要。

このため、**税務当局、申告納税制度の趣旨に沿って納税者、公共的使命を有する観点から税理士について、それぞれの役割を再整理したうえで、税務当局が実施すべきものについては、国税庁、国税局（間）及び税務署（間）においてそれぞれが果たすべき機能を再構築し、IT化に対応した事務の見直し及び職員以外で実施可能な事務のアウトソーシング化等を推進。**

納税環境の整備

基本的視点
申告者数の増加に対応した申告納税制度の趣旨に沿った納税者サービスの再構築

- 情報提供のIT化の推進
国税庁HPやタックスアンサーの充実、メールマガジンの活用
- 申告手段の多様化、IT化の推進
e-Taxの導入、HPの確定申告書作成コーナーの充実
- 確定申告期の対応
申告相談の日曜日（2日間）実施（閉庁日対応）
申告相談における自書申告の一層の推進
- 税務相談体制の効率化に向けた検討
税務相談のあり方に関し、税理士との関係も含め、対応すべき相談の範囲や体制について整理、見直し

内部事務（総務関係事務を含む）の基本的見直し

基本的視点
適切な事務運営の確保に配慮しながら、IT化に対応した事務の見直しや、職員以外でも実施可能な事務のアウトソーシング化の徹底等により効率化、スリム化を促進

- 内部事務の効率化等
内部事務の一元化・集中化の試行による内部事務の効率化策の検討
- 総務関係事務の効率化等
会計、厚生、給与等関係事務のIT化、局集中化、アウトソーシング化の推進

調査・徴収事務の基本的見直し

基本的視点
納税者のコンプライアンス維持・向上のため、調査・徴収体系の基本的見直し等により、更に効果的、効率的に調査・徴収事務を実施

- 調査・徴収事務の充実
局署の役割分担等を踏まえた調査・徴収体系の基本的見直しの検討
- 公共的使命を有する税理士の役割
新書面添付制度の育成等
- 先端分野等に対する対応
国際的租税回避スキームへの対応等の国際課税の充実、企業活動等の高度情報化への的確な対応
連結納税制度への的確な対応
納税者の予測可能性の確保
・事前照会に対する対応の充実
・移転価格課税に関するAPA（事前確認制度）の活用

国税職員の職場環境の整備

基本的視点
職員が意欲と希望をもって職務に精励できる職場環境づくり

- 男女共同参画社会実現のための取組
女性職員の能力適性を生かせる人事政策の推進
子育てと仕事の両立の観点から「国税庁特定事業主行動計画」の推進
- 若手職員に対する指導育成策の充実
- 取り巻く環境の変化に対応した研修制度の見直し
- 執務環境の整備（狭あい庁舎の増築、喫煙室の整備等）
- 税務大学校の研究機能の強化

諸施策の推進のために、**限られた定員の最適配分** **定量的効果を踏まえた予算配分** **適材適所の人事配置** に更に努める。

また、政府全体の取組みとして「業務・システムの最適化計画」の策定（平成18年3月） **KSK（国税総合管理）システムのリプレース（平成22年度目途）に向け計画を実現**

税務行政を取り巻く環境の変化と国税庁の対応について（参考資料）

